

みらい通信



各務原市議会
市民派・チームみらい
杉山 元則

事務所: 蘇原緑町 4-15
電話 090-7678-7869
FAX 058-382-3980
Mail: kizuna@true.ocn.ne.jp

新総合体育館建設事業費の推移



ここが大事

本契約の前には選挙がありません
令和7年2月市議会議員選挙・4月市長選挙

予想を超える人口減少 (国立社会保障・人口問題研究所)

市は、人口減少について、5年前と比較して減少カーブが緩やかになってはいるものの、予想を超える少子化が進んでおり、本市においても人口減少のさらなる加速が懸念されると答弁しています。

各務原市の年齢別人口

0歳	857人
5歳	1122人
10歳	1256人
15歳	1418人
20歳	1525人
40歳	1631人
50歳	2411人

市ホームページより

右の表を見ても子どもの数が急激に減少していることがわかります。

今年の夏の暑さは異常でした

子ども達にとって夏の楽しみは水遊びです。昨年、市民プール(屋外)の床面塗装がはがれていることがわかり営業中止、今年も修理に多額の費用が必要と中止になりました。アンケート調査には「子供たちの遊び場なので維持して欲しい」と意見があります。9月に市民アンケートがまとめられ、市民プール(屋外)の「存続などについて」、市が方針を決定することになります。

新総合体育館建設事業を中止できるかは選挙で決まります

来年の市議会議員、市長選挙は「ハコモノ政治」や「PFAS 対策の取組み」を問う選挙となるはず。少子高齢化・人口減少は確実に進んでいきますので、ムダなハコモノを作れば次の世代は維持管理という大きな負担を背負うことになります！

PFASの血中濃度の検査実施を

岐阜県民主医療機関連合会は、血液検査費用を1万1千円程度に抑えて実施することを明らかにし、各務原市に対して「比較的安価で血液検査ができるよう検査費用の助成をお願いします。」という内容の要望書を提出しました。

有難い提案であり、市は助成すべきと考えます。

質問 市は岐阜民医連の要望をどのように考えるか。

答弁 現在の知見では有機フッ素化合物(PFAS)が人体に影響を与えるメカニズムは解明されておらず、血液検査の結果で個人の健康影響を把握することは困難な状況です。現状において血液検査をする必要はないと考えますので、検査費用の助成をする予定はありません。

内閣府・食品安全委員会の有機フッ素化合物ワーキンググループは、「血中濃度分布の把握と、今後のリスク管理の方策などについて検討することは重要と考える」と評価書に明記し、未然防止の観点から血液検査の必要性を明記しました。

PFAS問題がおきた岡山県吉備中央町は全ての住民に血液検査を実施する方針を示し、血液検査の分析などに関する研究を、岡山大学に依頼しています。各務原市も参考にすべきです。

一般質問動画



◆ふるさと納税の現状(令和5年度)

各務原市への寄付額から返礼品などの経費を引いた受入額(流入額)と、市外に寄付された額(流出額)を差引いた額は令和5年度で2億円の赤字となりました。決算審議では、寄付額を増やすための工夫が必要だと指摘しました！

市監査委員会からも厳しい指摘

各務原市監査委員は審査意見書のむすびで、PFAS問題の市民への公表が遅れたことに対して、「情報共有不足により、結果的にその公表に至るまでに2年半以上の期間を要してしまったことは、組織としての認識の甘さによるものであり、誠に遺憾であると言わざるを得ない。」と厳しい意見が加えられました。

質問 監査委員の意見をどう受け止めるか。

▶市長答弁 真摯に受け止めるとともに、私が先頭に立ち、職員一丸となって安全な水道水を供給できるよう全力で対応します。

第1回各務原市水質改善対策委員会が6月29日に開催された。浅野市長も出席されたが、委員の意見に耳を傾けるべき機会であったはずですが、冒頭の挨拶だけで退席されています。

質問 途中退席したのはなぜか。

▶市長答弁 市としてこの問題に取り組む強い姿勢を伝えました。審議に関しては、きたんのない議論を頂くために退出しました。

ふるさと納税の金額の推移



2億円の赤字